

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【総務省】

施策番号	20007	施策名		消防隊員の安全確保のための研究開発			
新規／継続	新規	領域	豊かな国民生活基盤	国際的位置付け	—	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元			
施策の目的及び概要	消防隊員の安全確保と負担軽減のための個人装備・機器等を開発する						
達成目標及び達成期限	平成27年度までに、急激な火災に対応可能な装備・活動基準の作成、救急隊員の肉体的負担を軽減する補助機器の開発、救助活動中の土砂崩れを予測する技術の研究開発を行う。						
研究開発目標及び達成期限	・世界最先端の消防用防護装備の設計・試験技術を確立し、軽量で耐熱耐久性などに優れた防護装備の開発を行う。 ・救急活動時の隊員を支援する機器を開発し、消防本部に試験的に配備する。 ・二次崩落監視システムを開発し、緊急事態応用資機材として導入する。						
23年度の研究開発目標	・安全な消防活動が行えるための個人防護装備に関する目標仕様の策定 ・救急活動用支援機器アシスト機の仕様を策定と、部分試作による実現可能性の評価 ・二次崩落監視システムの計測機器を積載する無人ヘリの運動特性の解析						
施策の重要性	消防活動を安全に実施するための技術的解決策を提示することは、消防活動を効率的に実施できるようになることを通じてより多くの人命を救うことにつながる、重要な施策である。						
実施体制	総務省消防庁消防大学校消防研究センターにおいて実施予定						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				43			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)							
H23概算要求額の内訳	人件費:5 【主な内訳】 ・データ整理等賃金:5 機材費:34 【主な内訳】 ・機器購入費:22 ・機器試作費:12 旅費その他:4						
期間	H23～H27			資金投入規模(億円)		2	
これまでの成果(継続のみ)							
社会情勢・技術の変化(継続のみ)							
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)					
国民との科学・技術対							

話推進への対応(対象 施策のみ)	
---------------------	--